Osaka University Knowledge Archive

Title	朝日ジャーナル
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2018, 13, p. 3-16
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71851
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

朝日ジャーナル

1 巻 1 号（1959.3）～ 34 巻 23 号（1992.6），東京：朝日新聞社
18 巻 1 号（1976.1）～24 巻 52 号（1982.12）
大阪大学附属総合図書館（調査：岡野翔太，2018 年 5 月）

18 巻 1 号～2 号　　なし

18 巻 3 号（1976 年 1 月 23 日）

革命第一代から第二代へ：継続革命へ新たな中国（田所竹彦）

革命の初心を貫き通す：あまりに重かった存在（竹内実）

【座談会】周以後の展開を解析する：すでに設定されている内外政策の枠組み（太田勝洪，陳舜臣，浜勝彦，吉田実）

周恩来政治年表

日中友好路線の発展を望む：言行一致を守った周外交（川崎秀二）

18 巻 4 号～8 号　　なし

18 巻 9 号（1976 年 3 月 5 日）

広がる中国の反右派闘争

18 巻 10 号（1976 年 3 月 12 日）

日中航路がトライスターに踏み切らせたか

18 巻 11 号～15 号　　なし

18 巻 16 号（1976 年 4 月 23 日）

権力と概念と民衆：非政治的行動がもつ政治的意味（竹内実）

強まる向米反ソの外交姿勢（木村俊夫）

北京大学の壁新聞で糾弾された鄧小平語録

18 巻 17 号～18 号　　なし

18 巻 19 号（1976 年 5 月 14 日）

【対談】「土法路線」はコンコルドに勝てるか：試練に立つ中国の経済

建設（小島麗逸，近藤完一）

18 巻 20 号～21 号　　なし

18 巻 22 号（1976 年 6 月 4 日）

危機意識が支える「独裁」の原則：中国共産党の独自の解釈（矢吹晋）

18 巻 23 号～29 号　　なし

18 巻 30 号（1976 年 7 月 30 日）

数千年来の支配構造を変えた対走資派闘争：中国で社会主義経済を考える（伊藤光晴）

18 巻 31 号～38 号　　なし

18 巻 39 号（1976 年 9 月 24 日）

【座談会】中国はどこへ：文化革命は定着しうるか（関寛治，野村浩一，森恭三）

毛沢東年譜

毛沢東体制は解体する：内政・外交の両面に転機迎える中国（中嶋嶺雄）

第三世界における栄光と挫折（北沢洋子）

革命の詩人：その巨大な人間像（竹内実）

毛沢東の足跡

大衆路線の系譜と党内闘争（宇野重昭）

中国化されたレーニン主義：毛沢東思想の成立変遷（矢吹晋）

人民解放軍は安定勢力足りうるか（江馬亮）

歴史をみる毛主席（陳舜臣）

非英雄による英雄時代の継続（田所竹彦）

よろずマスコミ風：学生たちの受け止め方（編集部，小中陽太郎）

18 巻 40 号～43 号　　なし

18 巻 44 号（1976 年 10 月 22 日）

非毛沢東化が始まった：北京政変・文革派失墜と華国鋒党主席就任（中嶋嶺雄）

18 巻 45 号～53 号　　なし

19 巻 1 号（1977 年 1 月 7 日）

真の「人間解放」とは何か : 中国〈継続革命〉の普遍的意義（山内一男）

19 巻 2 号（1977 年 1 月 14 日）

「四人組」批判は林彪事件に通ずる：華国鋒体制の北京で考える（安藤彦太郎）

19 巻 3 号～4 号　なし

19 巻 5 号（1977 年 2 月 4 日）

中ソ和解のカギ握る鄧小平復活問題（中嶋嶺雄）

19 巻 6 号～12 号　なし

19 巻 13 号（1977 年 4 月 1 日）

独自の道を模索する中国（宇野重昭）

19 巻 14 号（1977 年 4 月 8 日）

忘れ去られた台湾の政治犯 : 香港左系誌『七十年代』から（夏洛，陳郷）

19 巻 15 号　なし

19 巻 16 号（1977 年 4 月 22 日）

中国社会主義の新しい相貌：鄧小平復活問題の背景と展望（伊藤斉，野上正，吉田実）

思想の運命と中国民衆（竹内実）

問われる文化大革命の行方（徳田教之）

19 巻 17 号～21 号　なし

19 巻 22 号（1977 年 5 月 27 日）

「四人組」追放と中国舞台芸術 : 来日した天津歌舞団を観て（河内四郎）

19 巻 23 号　なし

19 巻 24 号（1977 年 6 月 10 日）

華国鋒体制下に復興する中国農業（団野信夫）

19 巻 25 号～31 号　なし

19 巻 32 号（1977 年 8 月 5 日）

鄧小平復活の大いなる矛盾：次のステップは何か（中嶋嶺雄）

建軍 50 年：素顔の中国人民解放軍（古川万太郎）

19 巻 33 号～34 号　なし

19 巻 35 号（1977 年 9 月 2 日）

【座談会】中国共産党大会，「安定団結」の道（近藤竜夫，野上正，吉田実）

十一全大会と中国経済の動向（波多野宏一）

19 巻 36 号～52 号　　なし

20 巻 1 号～2 号　　なし

20 巻 3 号（1978 年 1 月 20 日）

「日中」に踏み出す福田首相の打算と命運（山下隆一）

中国の「詩と真実」：街頭と工場から（山本明）

20 巻 4 号（1978 年 1 月 27 日）

「米中国交正常化は技術交流から」ケネディ米上院議員，本誌記者に語る

20 巻 5 号　　なし

20 巻 6 号（1978 年 2 月 10 日）

障害は常に国内にある（田川誠一）

覇権問題とはなにか：歴史的教訓と日本の選択（吉田実）

中ソ等距離の現実的外交こそ必要（中川融）

20 巻 7 号（1978 年 2 月 17 日）

中華人民共和国の成立（竹内実）

20 巻 8 号　　なし

20 巻 9 号（1978 年 3 月 3 日）

“日中経済安保”が巻き起こした波紋（斎藤一郎）

20 巻 10 号（1978 年 3 月 10 日）

中国の大学入試を見る：新しい社会主義像の模索（上）（安藤彦太郎）

“安定した社会”づくり：中国の第五期全人代の課題

20 巻 11 号（1978 年 3 月 17 日）

中国の「教育革命」のゆくえ：新しい社会主義像の模索（下）（安藤彦太郎）

20 巻 12 号～16 号　　なし

20 巻 17 号（1978 年 4 月 28 日）

測りかねる中国の真意：尖閣事件と日中交渉

20 巻 18 号～19 号

20 巻 20 号（1978 年 5 月 19 日）

去就が注目される北京市長

20 巻 21 号～22 号　　なし

20 巻 23 号（1978 年 6 月 9 日）

アルバニアの“中国離れ”：中国の非同盟外交に転機か

20 巻 24 号（1978 年 6 月 16 日）

百花斉放と反右派闘争（竹内実）

日中交渉の北京側の窓口：韓念竜

20 巻 25 号～26 号　　なし

20 巻 27 号（1978 年 7 月 7 日）

積極化する中国外交

20 巻 28 号～29 号　　なし

20 巻 30 号（1978 年 7 月 28 日）

中国の人権問題と米国の立場（ジェローム・A・コーエン）

世界戦略構造の中の「日中条約」（阪中友久）

20 巻 31 号～32 号　　なし

20 巻 33 号（1978 年 8 月 25 日）

全方位外交の理念と対ソ問題（富森叡児，柴田俊治）

日中条約交渉 7 年の歩み（西村多聞）

20 巻 34 号～36 号　　なし

20 巻 37 号（1978 年 9 月 22 日）

日中条約後のソ連の対日対策

20 巻 38 号　　なし

20 巻 39 号（1978 年 9 月 29 日）

軍備増強で鄧副主席と応酬：日本の立場をぶつけた報道界訪中団（岸田純之助）

根底から動揺する座標：日中条約締結後の南北朝鮮（小栗敬太郎）

20 巻 40 号～41 号　　なし

20 巻 42 号（1978 年 10 月 20 日）

鄧小平の浮沈と牽引力（竹内実）

日中緊密化と中国経済の前途（山内一男，中岡哲郎，木村哲三郎）

軍の「近代化」は毛沢東軍事思想の見直しに通ずる（若松重吾）

20 巻 43 号～44 号　　なし

20 巻 45 号（1978 年 11 月 10 日）

鄧小平旋風の 8 日間（編集部）

20 巻 46 号～47 号　　なし

20 巻 48 号（1978 年 12 月 1 日）

毛沢東批判の背景と限界

20 巻 49 号（1978 年 12 月 8 日）

「近代化」と「革命」のジレンマ（竹内実，菊池昌典）

毛主席評価をめぐる形而上学と弁証法（吉田実）

姚文元の「新編歴史劇『海瑞罷官』を評す」を評す

20 巻 50 号～51 号　　なし

20 巻 52 号（1978 年 12 月 29 日）

米中国交樹立とアジア新情勢（入江昭，岸田純之助）

“なまぬるい戦争”が深刻化するアジア（中嶋嶺雄）

21 巻 1 号～2 号　　なし

21 巻 3 号（1979 年 1 月 26 日）

中国石油の知られざる実態（貴島聡）

大陸棚開発で予想される紛争（栗林忠男）

21 巻 4 号～5 号　　なし

21 巻 6 号（1979 年 2 月 16 日）

鄧訪米の成果と問題点

21 巻 7 号（1979 年 2 月 23 日）

鄧副首相，再訪日のねらい

中国近代化のカギを握る農業の後進性克服（ニューヨークタイムズ特約）

21 巻 8 号（1979 年 3 月 2 日）

日米に試練，中国のベトナム侵入

激動，中国党会議の舞台裏（上）（香港『七十年代』誌 2 月号から）

21 巻 9 号（1979 年 3 月 9 日）

政治戦争の色合いを強める中越紛争

激動，中国党会議の舞台裏（下）（香港『七十年代』誌 2 月号から）

21 巻 10 号（1979 年 3 月 16 日）

骨肉相食む中・越の“論理”（陸井三郎，田所竹彦）

21 巻 11 号～13 号　　なし

21 巻 14 号（1979 年 4 月 13 日）

修正迫られた中国の近代化計画（大森繁夫）

21 巻 15 号（1979 年 4 月 20 日）

中国の経済改革が提起する問題（都留重人）

21 巻 16 号（1979 年 4 月 27 日）

対ソ関係改善の可能性（小島朋之）

「米ソ」をなぞるか中ソ関係（白井久也）

21 巻 17 号（1979 年 5 月 4 日）

不信消えぬ中越会談

21 巻 18 号～21 号　　なし

21 巻 22 号（1979 年 6 月 8 日）

中ソ対立下の平衡感覚（大森繁雄）

21 巻 23 号（1979 年 6 月 15 日）

新段階を迎えた日中貿易（相良保彦）

CIA 報告全文　民間工業技術の導入をはかる毛以後の中国

役者は代わっても芝居は続く（エンディミオン・ウィルキンソン）

21 巻 24 号（1979 年 6 月 22 日）

中ソ会談への道

21 巻 25 号〜27 号　　なし

21 巻 28 号（1979 年 7 月 20 日）

理解しにくい国から理解可能な国への変身:全人代終えた中国（伴野朗）

21 巻 29 号（1979 年 7 月 27 日）

「学歴社会」へ突っ走る中国

21 巻 30 号　　なし

21 巻 31 号（1979 年 8 月 10 日）

国境死傷事件，中ソの対応

21 巻 32 号〜33 号　　なし

21 巻 34 号（1979 年 9 月 7 日）

中越紛争後の中国国防政策（久保卓也，塚本勝一，阪中友久）

21 巻 35 号〜38 号　　なし

21 巻 39 号（1979 年 10 月 5 日）

「六億の神州，ことごとく舜と堯」（野村祐一）

文革にみる“巨人”の栄光と悲惨（松野谷夫）

「四人組」と毛沢東思想の微妙な関係（小島朋之）

【座談会】留保付き“非毛”化進める華国鋒政権（斧泰彦，吉田実，田所竹彦，伴野剛）

21 巻 40 号（1979 年 10 月 12 日）

中国が新しい美術の波　新北京空港の壁画群（桑原住雄）

21 巻 41 号〜43 号　　なし

21 巻 44 号（1979 年 11 月 9 日）

華国鋒首相の西欧四ヵ国訪問

21 巻 45 号〜49 号　　なし

21 巻 50 号（1979 年 12 月 21 日）

大平訪中と対中円借款供与

21 巻 51 号（1979 年 12 月 28 日）

日中首脳会談にみた中国の 80 年代対外戦略（船橋洋一）

22 巻 1 号（1980 年 1 月 4,11 日）

中ソ和解はありうる（大森繁雄）
周恩来：戦いの日々と肖像①黙して語らず（松野谷夫）
22 巻 2 号（1980 年 1 月 18 日）
周恩来：闘いの日々と肖像②総理が死んだ日（松野谷夫）
22 巻 3 号（1980 年 1 月 25 日）
周恩来：闘いの日々と肖像③天安門事件（松野谷夫）
22 巻 4 号（1980 年 2 月 1 日）
周恩来：闘いの日々と肖像④生い立ち（松野谷夫）
22 巻 5 号（1980 年 2 月 8 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑤日本・フランス留学（松野谷夫）
22 巻 6 号（1980 年 2 月 15 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑥その妻　鄧頴超（松野谷夫）
22 巻 7 号（1980 年 2 月 22 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑦軍人としての側面（松野谷夫）
ある離婚裁判にみる中国の近代化と新法制（原後山治，針生誠吉）
解説：“法治元年”中国の苦悩（花野敏彦）
22 巻 8 号（1980 年 2 月 29 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑧江西の主役（松野谷夫）
22 巻 9 号（1980 年 3 月 7 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑨長征（松野谷夫）
22 巻 10 号（1980 年 3 月 14 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑩遵議会議（松野谷夫）
22 巻 11 号（1980 年 3 月 21 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑪西安事変（松野谷夫）
文革に決着つけた中共五中全会（吉田実）
22 巻 12 号　　なし
22 巻 13 号（1980 年 3 月 28 日）
周恩来：闘いの日々と肖像⑫（松野谷夫）
22 巻 14 号（1980 年 4 月 4 日）

周恩来：闘いの日々と肖像⑬建国（松野谷夫）

鄧小平の後継と目される趙紫陽

22 巻 15 号（1980 年 4 月 11 日）

周恩来：闘いの日々と肖像⑭高岡事件（松野谷夫）

鄧小平副主席内部報告「当面の情勢と任務」全文（上）

22 巻 16 号（1980 年 4 月 18 日）

鄧小平副主席内部報告「当面の情勢と任務」全文（下）

22 巻 17 号　なし

22 巻 18 号（1980 年 5 月 2 日）

四人組追放後の中国文芸界（宇田禮）

22 巻 19 号（1980 年 5 月 9 日）

周恩来：闘いの日々と肖像　メモから（松野谷夫）

22 巻 20 号（1980 年 5 月 16 日）

周恩来：闘いの日々と肖像⑮多面的性格（松野谷夫）

22 巻 21 号（1980 年 5 月 23 日）

周恩来：闘いの日々と肖像⑯非情ということ（松野谷夫）

22 巻 22 号　なし

22 巻 23 号（1980 年 6 月 6 日）

周恩来：闘いの日々と肖像⑰その人脈（松野谷夫）

22 巻 24 号（1980 年 6 月 13 日）

政治色の強かった華国鋒来日

周恩来：闘いの日々と肖像⑱国際人（松野谷夫）

22 巻 25 号（1980 年 6 月 20 日）

中国映画発見の旅（佐藤忠夫）

周恩来：闘いの日々と肖像⑲浮沈（松野谷夫）

22 巻 26 号（1980 年 6 月 27 日）

周恩来：闘いの日々と肖像⑳二月逆流（松野谷夫）

22 巻 27 号（1980 年 7 月 4 日）

周恩来：闘いの日々と肖像㉑武漢事件（松野谷夫）

22 巻 28 号（1980 年 7 月 11 日）

周恩来：闘いの日々と肖像㉒中南海の内と外（松野谷夫）

22 巻 29 号（1980 年 7 月 18 日）

周恩来：闘いの日々と肖像㉓冤（むじつ）（松野谷夫）

22 巻 30 号（1980 年 7 月 25 日）

周恩来：闘いの日々と肖像㉔危機（松野谷夫）

カーター・華国鋒会談

22 巻 31 号（1980 年 8 月 1 日）

周恩来：闘いの日々と肖像㉕林彪事件（松野谷夫）

22 巻 32 号（1980 年 8 月 8 日）

周恩来：闘いの日々と肖像㉖非情ということ（松野谷夫）

22 巻 33 号（1980 年 8 月 15,22 日）

周恩来：闘いの日々と肖像　最終回　はるかなる宰相（松野谷夫）

原水協，中ソの核実験も反対

22 巻 34 号（1980 年 8 月 29 日）

周恩来：闘いの日々と肖像　書き残したこと（松野谷夫）

22 巻 35 号～39 号　　なし

22 巻 40 号（1980 年 10 月 3 日）

中国は生まれ変わるのか㊤（小島朋之）

22 巻 41 号（1980 年 10 月 10 日）

中国は生まれ変わるのか㊦（小島朋之）

22 巻 42 号～48 号　　なし

22 巻 49 号（1980 年 12 月 5 日）

世界の運命を左右する中国の帰趨（G・パラグラフ，桑原武夫）

構造改革を模索する中国の社会主義体制（西川博史）

中国の林彪・四人組裁判

22 巻 50 号～52 号　　なし

23 巻 1 号　　なし

23 巻 2 号（1981 年 1 月 16 日）

「四人組」裁判と毛批判の奇妙なジレンマ（田所竹彦）

23 巻 3 号～8 号　　なし

23 巻 9 号（1981 年 3 月 6 日）

「世界戦争は回避できる」中国軍事戦略の新しい兆候（小島朋之）

23 巻 10 号（1981 年 3 月 13 日）

特派員リレーエッセイ：北京：「江南の春」（近藤竜夫）

23 巻 11 号～12 号　　なし

23 巻 13 号（1981 年 3 月 27 日）

日中間の歴史によこたわる巨大な時間的ズレ：シンポジウム「日中古代文化の接点を探る」を終えて（町田章）

23 巻 14 号（1981 年 4 月 3 日）

中国孤児に報いなければ「戦後」が終わらない人びと（永山三郎）

35 年の歳月も戦争の傷跡はいやせない「日中親さがし」の意味するもの（森本英之）

23 巻 15 号～16 号　　なし

23 巻 17 号（1981 年 4 月 24 日）

特派員リレーエッセイ：北京：恋・小説・政治（田所竹彦）

23 巻 18 号～25 号　　なし

23 巻 26 号（1981 年 6 月 26 日）

80 年代後半に中国経済は離陸する：薛暮橋国家計画委顧問の講演から

23 巻 27 号　　なし

23 巻 28 号（1981 年 7 月 10 日）

中国共産党：60 年の風雪を貫く権力闘争のうねり（松野谷夫）

23 巻 29 号（1981 年 7 月 17 日）

中国は“ソ連回帰”への道をたどるか（中嶋嶺雄，斧泰彦）

「華国鋒副主席」は一時的妥協か：党主席辞任劇のてんまつ（船橋洋一）

23 巻 30 号～45 号　　なし

23 巻 46 号（1981 年 11 月 13 日）

『苦恋』批判にゆれる中国の文芸界：ブルジョワ的自由化の誤った傾

向だ（釜屋修）

23 巻 47 号～48 号　　なし

23 巻 49 号（1981 年 12 月 4 日）

【座談会】辛亥革命 70 周年：いま脚光あびる孫文の遺志（安藤彦太郎，衛藤瀋吉，河野健二）

統一は全中国民衆の大業だ，国共両党だけのものではない：陳鼓応・元台湾大学助教授に聞く（聞き手・吉田実）

23 巻 50 号　　なし

23 巻 51 号（1981 年 12 月 11 日）

「李香蘭」だったわたし（山口淑子）

23 巻 52 号～53 号　　なし

24 巻 1 号～9 号　　なし

24 巻 10 号（1982 年 3 月 12 日）

特派員リレーエッセイ：北京：汚職退治（田所竹彦）

24 巻 11 号～22 号　　なし

24 巻 23 号（1982 年 6 月 4 日）

特派員リレーエッセイ：北京：天安門広場（田所竹彦）

24 巻 24 号～26 号　　なし

24 巻 27 号（1982 年 6 月 25 日）

請負制導入で活気づく中国の農業（団野信夫）

24 巻 28 号　　なし

24 巻 29 号（1982 年 7 月 9 日）

“和解”へ動き出した中ソ関係（中嶋嶺雄）

24 巻 30 号（1982 年 7 月 16 日）

特派員リレーエッセイ：北京：乾杯考（田所竹彦）

24 巻 31 号～33 号　　なし

24 巻 34 号（1982 年 8 月 13,20 日）

復交 10 年きしむ日中関係：田中派の台湾接近にいらだつ？中国教科書批判の裏側にあるもの（土井正行）

「核」のボタンに指がかかるとき㊦“原爆外交”の危険性（水沢透）
24 巻 35 号（1982 年 8 月 27 日）
中国を知ろうとする文教族はいるのか（戴国煇）
24 巻 36 号　　なし
24 巻 37 号（1982 年 9 月 10 日）
はっきりした文部省の「支那派遣軍・朝鮮総督府」的感覚（山中恒）
24 巻 38 号（1982 年 9 月 17 日）
中国共産党 12 全大会
24 巻 39 号～42 号　　なし
24 巻 43 号（1982 年 10 月 22 日）
ニュースセンサー：中ソ国境線
24 巻 44 号～46 号
24 巻 47 号（1982 年 11 月 19 日）
ニュースセンサー：中国全国人民代表大会
24 巻 48 号（1982 年 11 月 26 日）
特派員リレーエッセイ：北京，もみじ狩り（田所竹彦）
24 巻 49 号～50 号　　なし
24 巻 51 号（1982 年 12 月 17 日）
中国の焦りと成熟と
24 巻 52 号　　なし